

尼崎市原爆被害者の会 語り部事業

☆入場無料 どなたでも参加できます☆

日時 2018年3月15日(木) 午後2時～3時30分
会場 尼崎市立中央公民館 小ホール(尼崎市西難波町 6-14-34)
内容 第1部 原爆被爆体験DVD上映
「忘れてはならない夏がある」本編及び紙芝居
第2部 「尼崎市原爆被害者の会」によるお話

原爆被爆体験DVD 忘れてはならない夏がある



広島・長崎で被爆し、現在は尼崎市で暮らす原子爆弾被爆者の体験を映像作品化しました。
「もう二度と被爆者を作たくない」
「若い人たちに戦争の悲惨さを知ってほしい」
そんな思いから、慰い出すのもつらい70年前の体験を語っています。
平和への願いが、後世へ継承されることを願って……。



作品内容

本編 33分(字幕あり)

もう二度とこんなつらい思いをすることがないように……。

尼崎市在住の二人の被爆者の語りを中心に、イラストや資料映像を交えながら忘れてはならない夏の記憶を辿ります。

紙芝居

「11歳の夏」 15分(字幕あり)

お母さんに会いたい。お母さん！泣きながら市内をさまよったあの日。

「水がほしい」 12分(字幕あり)

「お兄ちゃん、水がほしい」弟の最後の願いも叶えられなかった。

尼崎市にも、広島・長崎で被爆した人がいる事をご存知ですか？
「もう二度と被爆者を作たくない」「若い人達に戦争の悲惨さを知ってほしい」
そんな思いから、実際に体験された内容に基づき、DVDとして映像作品化し、後世へ残すため、体験された方から直接、お話を聞きます。

入場無料 先着80人(要申込み)

お申込みは2月13日(火)～

※定員になり次第、受付を締切らせていただきます。
公益社団法人尼崎人権啓発協会へ電話またはFAXで。

TEL06-6489-6815/FAX6818

※FAXの場合、必ず氏名・FAX番号を記載してください。



お車でのご来場はご遠慮ください。



主催：公益社団法人尼崎人権啓発協会・尼崎市
<http://hccweb.bai.ne.jp/~hcg22501/>

